

Culib News (クリブニュース)

No.65 2010年7月10日 中京大学図書館発行

新図書館の実現構想

中京大学図書館長 棚橋 純一

名古屋図書館がある1号館は、老朽化のため建て直すことになり、図書館も一新される予定です。その第一歩として、1号館の隣に図書館附属新棟と呼ばれる建物が現在建設中で、間もなく完成します。この附属新棟には、積層型の書架に加えて大型の自動書庫が導入され、収容能力が大幅にアップします。また貴重本を良質に保管できる専用書庫も導入されます。新図書館にふさわしい所蔵機能を備えた「奥の院」が実現する見込みです。

附属新棟完成後、名古屋図書館はそちらに仮移転し、跡地に新しい建物の建設が始まります。その1階および2階部分に新図書館の「本堂」機能を展開し、附属新棟の「奥の院」と有機的に結合する新図書館実現を目指しています。

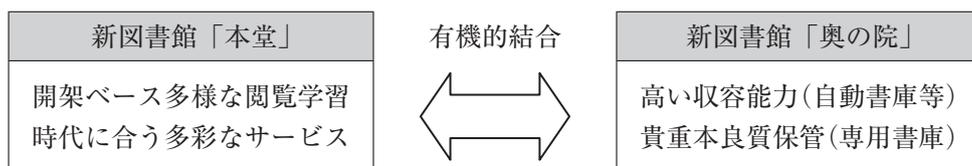


図1 新図書館の基本構成

新図書館の「本堂」には、図1に示すように、開架書架をベースに多様な閲覧学習環境を用意するとともに、時代に合う多彩なサービスを盛り込むことを考えています。

新図書館の実現構想を具体化するため、図書委員の先生方に管財部と図書館のスタッフを加え、集中的な検討をお願いしました。その際、建学の精神と多様化の時代を意識した実現コンセプト（図2）を提示し、それを参考に具体的検討を依頼しました。

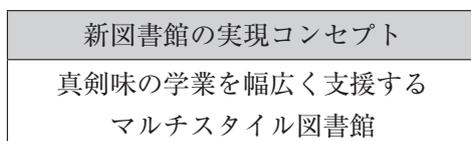


図2 新図書館の実現コンセプト

検討メンバーのご尽力により、充実した構想案が得られました。結果を図3に示します。

新図書館の具体的実現構想	
(1) 利用目的	<p>研究用+学習用のハイブリッド型</p> <p>(現在は研究用、新図書館は学習用を兼ねLSCの混雑緩和をはかる)</p>
(2) 蔵書環境	<p>人アクセス型を相当量確保、同時に自動書庫により収容力を大幅アップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人アクセス型(開架/閉架/貴重) 32万冊 ・機械アクセス型(自動書庫) 80万冊
(3) 閲覧学習環境	<p>下の階は声や音を若干覚悟のアクティブゾーン、上の階は静かなゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1階は人の行き来があり、ある程度の声や音がする閲覧学習環境 ・2階は静かな閲覧学習を保證する環境(個別的ブース席が基本) ・本格的個室席を試験的に導入
(4) グループ学習環境	<ul style="list-style-type: none"> ・自由レイアウト型で利用価値が高い学習室を設置 ・従来型の少人数用もニーズがあると判断し2室確保
(5) 検索環境	<ul style="list-style-type: none"> ・OPAC検索継続(検索コーナーを館内の便利なところに分散配置) ・仮想書架機能を新規に導入(仮想ブラウジング機能を提供)
(6) IT活用推進	<ul style="list-style-type: none"> ・IT活用コーナーを本格設置(PC持ち込み可でネット利用も可) ・ラーニング commons の試行実験が行える場所を確保 ・電子書籍や電子新聞体験コーナーを設置
(7) イベント発信	<ul style="list-style-type: none"> ・入口近くのスペースをイベント発信コーナーとして積極活用
(8) リラックス環境	<ul style="list-style-type: none"> ・談話や飲み物が可能でリラックスできる commons ペースを設置

図3 新図書館の具体的実現構想

本実現構想は、5月に開催された総合建設計画委員会で佐野管財部長と一緒に説明をしました。2011年度から本構想に基づく建設がスタートし、2013年春には新図書館をオープンできる予定です。大いにご期待下さい。

児童文学の旅(16)

—ワシントン D.C. からトロントへ—

原 昌

1980年春から、アメリカの州立ミネソタ大学に、児童文学研究のため滞在していた私は、ふとアメリカの古い子ども本のなかで、〈日本〉がどのように扱われていたかを探ろうという思いを抱いた。ほとんど必要な本は、他大学所蔵の本でも、ミネソタ大学を通して借りられたが、19世紀の本は無理ということで、思いきって東海岸の古い都市の図書館へと、本探しの旅に出ることにした。もう夏の終わりであった。



ミネソタ大学・キャンパス

ミネアポリスの空港からワシントン D.C. まで機上の人となり、まず国立国会図書館・児童文学センターを訪れた。親日家のヤーギッシュ博士にお世話になる幸運をえたが、〈日本〉の紹介は、まず記録性の強いノンフィクションから始まっていた。たとえば、1806年（文化3）のロンドン版『地理概要』には、諸国の地形だけでなく、その国の民族性にも触れ、わが国の特徴として〈器用さ〉があり、「よく働く腕のよい職人気質をもつ民族」として紹介されていた。約200年前の日本人の一面を知るとともに、これは現代にも通じている気質だと思った。

このワシントン D.C. に3日滞在、ニューヨークの中央図書館に立ち寄ってから、ボストンにむかった。急行列車の旅である。車窓から遠々とつづくコーン畑、地平線の見えるほど広がる草原、駅もなく何時間も走りつづける列車の音、それらは私に〈大陸というもの〉を感じさせた。

列車内はゆったりとしていて、4人がけで真ん中に長細いテーブルがあった。トランプをしている連中もいた。私のボックスには2人の女子学生がいたので、日本から来て、子どもの本を調べに来ていることなどを話し、「ロンドン橋おっこちる」「ハンプティ・ダンプティ」の唄、「知ってる?」と尋ねると、二人の学生は「もちろんよ!」と言って、口ずさんでくれた。

やがてボストン着。地下鉄で中央図書館に行った。なかなか管理が厳しいところで、特別室に案内され、そこで19世紀刊の日本の昔話や、日本にまつわる物語に接した。これらの本で、私が驚いたことには、物語の人物たちの挿絵が、中国風の着物をきており、子どもは河童のような頭をしていたことである。当時の欧米人からすると、日本の風土も、人も、その文化も、中国のイメージに埋没していたようである。

数日後にはボストンを起ち、バスでナイアガラを通り、国境を超えて最終地トロント（カナダ）へ向かった。途中、ナイアガラ瀑布の巨大さに打たれ、ここで1泊。落雷の落ちるような轟音がリズムカルで、夜の闇を支配していた。

翌朝、マイクロバスでの車中の人、私を入れてわずか5人。ナイアガラからトロントまで2時間、落ついた時間があり、ふと日本にいる家族のことを想った。

(中京大学名誉教授)

利用者から図書館へのお願い

名古屋市立新郊中学校教諭 鈴木 友子

前回クリブニュースに寄稿させて頂いた時に、これで私の担当は最後と書いた。しかしあと1回だけ、掲載して頂くことになった。内容は、学外者となって感じたことについて、である。

大学図書館は学外者も利用できる。大学が学生以外にも開放されているからだ。特に、公立図書館と違って、夜遅くまで開館しているLSCのような場所ありがたい。一般書はもちろん、専門書が利用できること、豊田図書館や本館の本も利用できることも便利な点である。

私も学外利用者としてカードを作成してもらった。中学校に勤務しているため、教育書を借りている。購入しようか迷っている本、絶版になった本などは、やはり図書館で借りるのが一番よい。

学外者として利用するようになって、感じたことがある。大学の図書館だからといって、大学生が自分の部屋のように図書館を利用しているのは、とても気になる。飲食をしながら利用する、椅子に足を乗せて座る、落書きをしているなど、図書館を私物化している学生を見ると残念でならない。勉強熱心なのは素晴らしいが、マナーはちゃんと守って欲しい。向学心ある学生でも、礼儀がない様子では、大学全体に良い印象が持てない。

それから、図書館の本は、元にあった所へ戻して欲しい。その辺に置いてあるのを見たり、全く違う所にあるのを見つれたりすると、あれっ？と思う。もしかしたらこの本を探している人がいるかもしれないのに。自分だけ閲覧したら、他の人へは閲覧させないつもりなのかと思ってしまう。

図書館にもお願いしたいことがある。図書館は資料を収集・保存することが目的であり、利用者のニーズに応じて行くことが大事なのだから、資料はきちんと保存して欲しい。例えば、文学全集や著作集のようなセットになっている本はきちんとそろえておいて欲しい。中には途中の巻数しかないものも多く、検索しにくいことがある。せめて、各図書館に分けてでも揃えて置いてあるならば、取り寄せることができ便利だと思う。検索をして資料がない時などは、とても残念でならない。雑誌論文のようなものはまだ諦めもするが、本の場合、なぜ第6巻しかないのだろうか？とか、3巻まではあるのに4巻以降がない、といった事が起こると調べる・学ぶ意欲が削られてしまう。施設を充実させるのは大事だが、本を揃えることも必要であろう。

また、大学で持っている素晴らしい資料は、ぜひ公開して欲しい。資料そのものを展示できない場合は、資料紹介だったり、画像などでもよいと思う。中京大学図書館にさまざまな資料が多く保存されていることを知らない学生は、とても多い。

私は現在中学校で国語を教えながら、図書館教育にも関心を持っている。図書館は誰でも利用できる上、学校と名の付く所には大なり小なり図書館か図書室がある。きちんと使用すれば、たくさんの本との良い出会いが待っている。マナーを守って利用する、元あった所へ返す、というようなことは中学生でも大学生でも、図書館を利用するものにとっては常識だ。中京大学図書館には当たり前のことが当たり前前にできる図書館であって欲しい。



新着図書のご案内



* 所蔵された最新資料の一部を紹介します。

書名	責任表示	出版者	出版日付	資料 ID	所在	請求記号
うつ病診療最前線：再発させない治療法	唐渡雅行著	時事通信出版局/時事通信社(発売)	2010.2	1132939	LSC 開架書庫	493.764/To 77
現代日本農業の政策過程 (総合研究現代日本経済分析：3)	本間正義著	慶應義塾大学出版会	2010.5	1133018	LSC 開架書庫	611.1/H 83
昔話と伝説の人びと (大絵馬ものがたり：5)	須藤功著	農山漁村文化協会	2010.5	1135089	LSC 開架書庫	387.7/O 18/5
棚卸資産会計の実務 (会計実務ライブラリー：1)	新日本有限責任監査法人編	中央経済社	2010.3	1135091	LSC 開架書庫	336.9/Ka 21/1
固定資産会計の実務 (会計実務ライブラリー：2)	新日本有限責任監査法人編	中央経済社	2010.3	1135092	LSC 開架書庫	336.9/Ka 21/2
金融商品会計の実務 (会計実務ライブラリー：3)	新日本有限責任監査法人編	中央経済社	2010.3	1135093	LSC 開架書庫	336.9/Ka 21/3
外貨建取引会計の実務 (会計実務ライブラリー：4)	新日本有限責任監査法人編	中央経済社	2010.3	1135094	LSC 開架書庫	336.9/Ka 21/4
研究開発費・ソフトウェア会計の実務 (会計実務ライブラリー：5)	新日本有限責任監査法人編	中央経済社	2010.3	1135095	LSC 開架書庫	336.9/Ka 21/5
退職給付会計の実務 (会計実務ライブラリー：6)	新日本有限責任監査法人編	中央経済社	2010.3	1135096	LSC 開架書庫	336.9/Ka 21/6
税効果会計の実務 (会計実務ライブラリー：7)	新日本有限責任監査法人編	中央経済社	2010.3	1135097	LSC 開架書庫	336.9/Ka 21/7
資本会計の実務 (会計実務ライブラリー：8)	新日本有限責任監査法人編	中央経済社	2010.3	1135098	LSC 開架書庫	336.9/Ka 21/8
組織再編会計の実務 (会計実務ライブラリー：9)	新日本有限責任監査法人編	中央経済社	2010.4	1135099	LSC 開架書庫	336.9/Ka 21/9
連結決算の実務 (会計実務ライブラリー：10)	新日本有限責任監査法人編	中央経済社	2010.4	1135100	LSC 開架書庫	336.9/Ka 21/10
ディスクロージャーの実務 (会計実務ライブラリー：11)	新日本有限責任監査法人編	中央経済社	2010.4	1135101	LSC 開架書庫	336.9/Ka 21/11
マクロ経済学	伊藤元重著	日本評論社	2002.2	1135114	LSC 開架書庫	331/I 89
ミクロ経済学 第2版	伊藤元重著	日本評論社	2003.11	1135115	LSC 開架書庫	331/I 89
単位が取れる解析力学ノート (単位が取れるシリーズ)	橋元淳一郎著/講談社サイエンティフィック編集	講談社	2009.4	1135116	LSC 開架書庫	423.35/H 38
単位が取れる力学ノート (単位が取れるシリーズ)	橋元淳一郎著	講談社	2002.6	1135117	LSC 開架書庫	423/H 38
バランス・スコアカードによる戦略実行のプレミアム：競争優位のための戦略と業務活動とのリンク	ロバート・S・キャプラン、デビッド・P・ノートン著/櫻井通晴、伊藤和憲監訳	東洋経済新報社	2009.4	1135118	LSC 開架書庫	336/Ka 61
アメリカの世界戦略と国際秩序：覇権、核兵器、RMA (国際政治・日本外交叢書：10)	梅本哲也著	ミネルヴァ書房	2010.2	1135119	LSC 開架書庫	319.53/U 71
大系黒澤明 第4巻	黒澤明著/浜野保樹編・解説	講談社	2009.10	1135122	LSC 開架書庫	778.21/Ku 76/4
江戸の都市と文化 (史跡で読む日本の歴史：9)	岩淵令治編	吉川弘文館	2010.6	1135123	LSC 開架書庫	210.025/Sh 89/9
ブリキの太鼓 (世界文学全集：2-12)	キューンター・グラス著/池内紀訳	河出書房新社	2010.5	1135124	LSC 開架書庫	908/Se 22/2-12
13歳のハローワーク 新	村上龍著/はまのゆか絵	幻冬舎	2003	1135153	LSC 開架書庫	366.29/Mu 43
日本経済の真実：ある日、この国は破産します	幸坊治郎、幸坊正記著	幻冬舎	2010.4	1135236	LSC 開架書庫	332.107/Sh 46
1テーマ5分でわかる世界のニュースの基礎知識	池上彰著	小学館	2010.3	1135489	LSC 開架書庫	302/I 33
超簡単ツイッターが1時間で身につく本：ポケット図解：最新：便利技：超入門 (Shuwasystem PC Guide Book)	中村有里著	秀和システム	2010.3	0949116	豊田開架室・3F	548.483/N 37
蟹工船から見た日本近代史	井本三夫著	新日本出版社	2010.2	0949117	豊田開架室・3F	664.35/I 48
一瞬で一生！人を引きつける話し方	村瀬健著	マガジンハウス	2010.2	0949118	豊田開架室・3F	361.454/Mu 57
日本の社会政策	久本憲夫著	ナカニシヤ出版	2010.5	0949138	豊田開架室・3F	364.1/H 76
倫理空間への問い：応用倫理学から世界を見る	馬淵浩二著	ナカニシヤ出版	2010.4	0949139	豊田開架室・3F	150/Ma 12
体験で学ぶ社会心理学	吉田俊和、元吉忠寛編	ナカニシヤ出版	2010.4	0949142	豊田開架室・3F	361.4/Y 86
チャンピオンスポーツの人間学：女子駅伝における人間形成と競技力向上	上谷聡子著	見洋書房	2010.4	0949144	豊田開架室・3F	782.3/U 48
工学系の関数解析	小川英光著	森北出版	2010.5	0949145	豊田開架室・3F	415.5/O 24
学生のための教育学	西川信廣、長瀬美子編	ナカニシヤ出版	2010.4	0949147	豊田開架室・3F	371/N 83
公共部門の評価と管理	山谷清志編著	見洋書房	2010.4	0949148	豊田開架室・3F	317.1/Y 47
理論と実践を創造する知のプロセス (授業デザインの最前線：2)	高垣マユミ編著	北大路書房	2010.4	0949162	豊田開架室・3F	375.1/Ta 29
情報化社会のリテラシー：情報と技術・経済・経営・倫理・法律・福祉 改訂版	岡本隆、橋恵昭編著	見洋書房	2010.4	0949221	豊田開架室・3F	007.3/J 66
創造の場と都市再生	大阪市立大学大学院創造都市研究科編	見洋書房	2010.3	0949222	豊田開架室・3F	518.8/O 73
転換するグリーン・ツーリズム：広域連携と自立をめざして	青木辰司著	学芸出版社	2010.5	0949223	豊田開架室・3F	689.4/A 53
英語リーディング指導ハンドブック	門田修平、野呂忠司、氏木道人編著	大修館書店	2010.5	0949224	豊田開架室・3F	375.893/Ka 14
石津謙介：いつもゼロからの出発だった (人間の記録：177)	石津謙介著	日本図書センター	2010.5	0949233	豊田開架室・3F	289.1/I 84
ネット帝国主義と日本の敗北：押されるカネと文化 (幻冬舎新書：156)	岸博幸著	幻冬舎	2010.1	0949235	豊田開架室・3F	007.3/Ki 56
水ビジネスの現状と展望：水メジャーの戦略・日本としての課題	服部聡之著	丸善	2010.4	0949236	豊田開架室・3F	518.1/H 44
チャートで組み立てるレポート作成法	加納寛子著	丸善	2010.4	0949237	豊田開架室・3F	816.5/Ka 58
情報整理からはじめるテクニカル・ライティング	Thomas E. Pearsall, Kelli Cargile Cook [著]/都田青子訳	丸善	2010.4	0949238	豊田開架室・3F	507.7/P 31
オリンピック問題で学ぶ世界水準の物理入門	物理チャレンジ・オリンピック日本委員会編	丸善	2010.4	0949239	豊田開架室・3F	420/B 97
継体天皇と王統譜	前田晴人著	同成社	2010.3	0949240	豊田開架室・3F	288.41/Ma 26

2010年度 図書館カレンダー

図書館の一年間の開館予定が一覧でご覧になれます。

各館ごとの臨時休館、開館時間の変更等は、HPの【お知らせ】と【ニュース&トピックス】でご案内いたします。

通常の開館時間

	名古屋図書館 (NL)	ライブラリーサービスセンター(LSC)	法学文献センター (LLC)	豊田図書館 (TL)
平日	9:00 ~ 19:00	9:00 ~ 22:00	9:00 ~ 19:00	9:00 ~ 20:00
土曜日	9:00 ~ 12:30		9:00 ~ 12:30	9:00 ~ 17:00

無印は通常開館日

○の開館時間 (全館 平日 9:00~17:00 土曜日 9:00~12:30)

●の開館時間 (全館 平日 9:00~16:00 土曜日 9:00~12:00)

■は休館日

●の開館時間 (定期試験月の休日開館日 10:00~17:00 (LSCのみ))

名古屋図書館 (NL)							ライブラリーサービスセンター (LSC)							法学文献センター (LLC)							豊田図書館 (TL)						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
7月							7月							7月							7月						
				1	2	3					1	2	3					1	2	3					1	2	3
4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31	25	26	27	28	29	30	31	25	26	27	28	29	30	31	25	26	27	28	29	30	31
8月							8月							8月							8月						
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
29	30	31					29	30	31					29	30	31					29	30	31				
9月							9月							9月							9月						
			1	2	3	4				1	2	3	4				1	2	3	4				1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	5	6	7	8	9	10	11	5	6	7	8	9	10	11	5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18	12	13	14	15	16	17	18	12	13	14	15	16	17	18	12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25	19	20	21	22	23	24	25	19	20	21	22	23	24	25	19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30			26	27	28	29	30			26	27	28	29	30			26	27	28	29	30		

名古屋図書館(NL)の移転に伴う休館について

休館日：2010年7月30日(金)～2010年9月23日(木)

なお、7月20日(火)～29日(木)は移転準備作業のため、
名古屋図書館(NL)の閉架書庫は**立入禁止**になります。

※休館は名古屋図書館(NL)のみです。

ライブラリーサービスセンター(LSC)、法学文献センター(LLC)
及び 豊田図書館(TL)は各館カレンダー通り開館します。

発行 中京大学図書館

〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町101-2 TEL(052)-835-7157 <http://www.chukyo-u.ac.jp/tosho/> 印刷 株式会社 荒川印刷